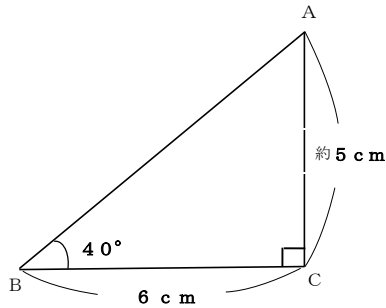


平成26年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 小学校 第6学年 算数 解答及び配点一覧 No.1

大問	中問	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
1 20 点	(1)	①	技能			200	5
	(2)	②	技能			$\frac{2}{3}$	5
	(3)	③	技能			$\frac{2}{5}$	5
	(4)	④	技能			$\frac{7}{8}$ または 0.875	5
2 10 点	(1)	⑤	知識			ウ	5
	(2)	⑥	知識	○ 【図】1, 【式】ウのどちらかを書いている。	2	○ 【図】1, 【式】ウ (完答)	5
3 5 点		⑦	考え	○ アのみを書いている。 ○ 答え42cmのみを書いている。	2	○ 選んだ記号(ア) (たての長さの求め方) ○ 1あたりの長さを求めてから、たての長さを求めている。 $30 \div 5 = 6$ $6 \times 7 = 42$ ○ たての長さが横の長さの何倍かを考えて、求めている。 $30 \times \frac{7}{5} = 42$ <u>答え 42cm</u>	5
				○ 記号はア, 答えも42cmと書いているが、求め方を書いていない。 ○ 記号も答えも間違っているが、たての長さの求め方を書いている。 ※ 求め方は、「十分満足できる解答状況」のように書いていること。	3		
				○ 記号は間違っているが、たての長さの求め方を書いて、答えも42cmと書いている。 ※ 求め方は「十分満足できる解答状況」のように書いていること。 ○ 記号はアと書いて、たての長さの求め方も書いているが、答えが間違っている。 ※ 求め方は、「十分満足できる解答状況」のように書いていること。	4	○ 比を使って考えている。 $7 : 5 = \square : 30$ $30 \div 5 = 6$ $7 \times 6 = 42$ <u>答え 42cm</u> 等	

大問	中問	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
4	5	点	⑧	技能	2	○ BCの長さが6cmの縮図をかき、実際のADの長さを計算により求めている。 ・ $30\text{m}=3000\text{cm}$ $3000\div500=6$ 縮図のBCの長さは6cmです。 縮図のACの長さを測ると(約)5cmです。 $5(\text{cm})\times500=2500(\text{cm})$ $2500\text{cm}=25\text{m}$ ACの実際の長さは25m だから、ADの長さは $25-5=20$ 答え 川はばADの長さは20m	5
					3	○ BCの長さが6cmの縮図をかき、実際の長さを計算により求めようとしているが、ACの長さを求めている。 ・ $30\text{m}=3000\text{cm}$ $3000\div500=6$ 縮図のBCの長さは6cmです。 縮図のACの長さを測ると(約)5cmです。 $5(\text{cm})\times500=2500(\text{cm})$ $2500\text{cm}=25\text{m}$ ACの実際の長さは25m 答え 川はばの長さは25m	
【授業改善の視点】 拡大図や縮図を、目的に応じて適切にかくことができるよう、多様な作図の仕方を考えさせるとともに、それぞれの作図の仕方について、活用できる場面やよさを考えたりする活動を取り入れる。							



大問	中問	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
5 20 点	(1)	⑨	知識			2	5
	(2)	⑩	関心	<p>○ 「線対称」, 「点対称」のいずれかの用語を使って一部正しい記述をしている。 (例) ㊦を選んだ場合 「この図形は, 線対称ではありません。」</p> <hr/> <p>○ 「線対称」, 「点対称」の用語を2つとも使っているが, どちらかに誤りの記述をしている。 (例) ㊦を選んだ場合 「この図形は, 線対称でもあるし, 点対称でもあります。」</p> <hr/> <p>○ 「線対称」, 「点対称」の用語を2つとも使っているが, 「十分満足できる解答状況」以外に, 下線部のような誤った記述をしたり, 他の図形にも言える等, 内容が不十分であったりしている。 (例) ㊦を選んだ場合 「この図形は, 線対称ではないが, 点対称です。対称の軸は1本あります。」 (例) ㊧を選んだ場合 「この図形は, 線対称でもあるし, 点対称でもあります。」 ※この解答なら㊧の正六角形にも言えるから ※㊧の場合も同様</p>	<p>1</p> <hr/> <p>2</p> <hr/> <p>3</p>	<p>○ 線対称, 点対称について正しい記述をしている。 ・ ㊦を選んだ場合 「この図形は, 線対称ではありませんが, 点対称です。」など</p> <hr/> <p>・ ㊦を選んだ場合 「この図形は, 線対称ですが, 点対称ではありません。(対称の軸は1本です。)」など</p> <hr/> <p>・ ㊧を選んだ場合 「この図形は, 線対称でもあるし, 点対称でもあります。対称の軸は4本あります。」など</p> <hr/> <p>・ ㊦を選んだ場合 「この図形は, 線対称でもあるし, 点対称でもあります。対称の軸は6本あります。」など</p>	5
	(3)	⑪	知識			う ※㊦やウ等も可	5
	(4)	⑫	考え	<p>○ 式は書いていないが, 答えのみを書いている。 <u>答え 8cm</u></p> <hr/> <p>○ アを求める式のみを書いている。 ・ $8 \times 6 \div 2 = 24$ $192 \div 24$ ・ $192 \div (8 \times 6 \div 2)$ ・ $8 \times 6 \div 2 \times \square = 192$ 等</p>	<p>2</p> <hr/> <p>3</p>	<p>○ 式と答えの両方とも書いている。 ・ $8 \times 6 \div 2 = 24$ $192 \div 24 = 8$ ・ $192 \div (8 \times 6 \div 2) = 8$ ・ $8 \times 6 \div 2 \times \square = 192$ $\square = 192 \div 24$ $\square = 8$ 等 <u>答え 8cm</u></p>	5

大問	中間	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
6 10 点	(1)	13	技能	<p>○ 式は書いていないが、答えのみを正しく書いている。 <u>答え 5.5周</u></p> <p>○ 式のみを正しく書いている。答えは正しく書いていない $(5+8+0+9) \div 4 = \underline{4.5}$</p>	2 3	<p>○ 式と答えのどちらも正しく書いている。 ・ (式) $5+8+0+9=22$ $22 \div 4 = 5.5$ ・ (式) $(5+8+0+9) \div 4 = 5.5$ <u>答え 5.5周</u> ※ 式は $(5+8+9) \div 4$ も可 ※ 答えは、5周と半分でも可。</p>	5
	(2)	14	考え	<p>○ 式や求め方が不十分であるが、答えは正しく書いている。</p> <p>○ 式や求め方は正しいが、計算が間違っている。 ・ $6 \times 5 = 30$ $5+8+0+9 = \underline{21}$ $30-21 = 9$</p>	2 3	<p>○ 言葉や式を正しく用いて説明し、答えを求めている。 ・ <u>平均を6周にしたいので、月曜日から金曜日までの食計は</u> $6 \times 5 = 30$ <u>月曜日から木曜日までの食計は</u> $5+8+0+9 = 22 \cdots \textcircled{1}$ $(5+8+9 = 22 \text{でも可。})$ $30-22 = 8$ <u>答え 8周</u> ※波線部分は入れてなくても可。 ・ $6 \times 5 - (5+8+0+9) = 8$ ・ (1)で①の式を使っている場合は、①の式がなくても可。 $6 \times 5 = 30$ $30-22 = 8$ 等</p>	5
7 10 点	(1)	15	技能	<p>○ 答えのみ正しく書いている。</p> <p>○ 答えは正しく書いているが、式が不十分である。 重さ÷個数が一定であることや、個数が何倍になっているかを使っていない。</p> <p>○ 式を書いているが、答えを間違っている(または、書いていない)。 ※ 式は、「十分満足できる解答状況」のように書いていること。</p>	2 3	<p>○ 重さ÷個数が一定であることを使って考えている。 $75 \div 5 = 15$ $15 \times 95 = 1425$</p> <p>○ 個数が何倍になっているかを使って考えている。 $95 \div 5 = 19$ $75 \times 19 = 1425$ 等 <u>答え 1425g</u> ※ $5:75=95:\square$ を使っていても可。</p>	5
	(2)	16	考え	<p>○ アルミ缶50個の重さを求める式のみ正しく書いているが、計算が間違っている。 (例) ・ $150 \div 10 = 15$ $15 \times 50 = \underline{650}$ ・ $150 \times 5 = \underline{650}$</p> <p>○ 式とその計算は正しく書いているが、「十分満足できる解答状況」の<u> </u>のような比例の考えを使った言葉が不十分である。</p> <p>○ 「十分満足できる解答状況」の<u> </u>のような比例の考えを使った言葉を書き、式を正しく書いているが、計算が間違っている。</p>	2 3 4	<p>○ 比例の考えを使って、アルミ缶ではない缶がまざっていることを説明している。 (例) ・ <u>アルミ缶の個数と重さは比例しているのでアルミ缶1個の重さを求めてから、50個の重さを求めると</u> $150 \div 10 = 15$ $15 \times 50 = 750$ けれども、集まった缶は760gになっています。 ・ <u>アルミ缶の個数と重さは比例しているので缶の個数が50個で10個の5倍になっているから、重さも150gの5倍になります。</u> $150 \times 5 = 750$ けれども、集まった缶は760gになっています。 ※ 比例の考えを使っていれば可。</p>	5
<p>【授業改善の視点】比例の関係を用いて問題を解決したりする算数的活動を工夫する。また、根拠を明確にしてお互いの考えを説明する活動を取り入れる等の言語活動を工夫する。</p>							

平成26年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 小学校 第6学年 算数 解答及び配点一覧 No.5

大問	中問	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
8 10点	(1)	⑰	技能	○ 1kgあたりの値段で比べているが、計算が間違っている。また答えは(A)と書いていない。	2	○ 1kgあたりの値段で比べている。 A店 $1770 \div 3 = 590$ B店 $3000 \div 5 = 600$ <u>(A)の店の方が安いと言える。</u>	5
				○ 1kgあたりの値段で比べているが、計算が間違っている。また答えは(A)と書いている。	3		
	(2)	⑱	考え	○ ひろしさんを選んでいるが、あゆみさんの考えで求めている。または、あゆみさんを選んでいるが、ひろしさんの考えで求めている。答えはBを選んでいる。	2	○ ひろしさんを選び、 1m^2 あたりの人数を用いて説明している。 ・ A $14 \div 8 = 1.75$ B $10 \div 5 = 2$ 1m^2 あたりの人数が多い方が、こんでいると言えます。 <u>だから(B)のシートの方がこんでいます。</u> ○ あゆみさんを選び、1人あたりの面積を用いて説明している。 ・ A $8 \div 14 = 0.5714 \dots$ B $5 \div 10 = 0.5$ 1人あたりの面積が小さい方が、こんでいると言えます。 <u>だから(B)のシートの方がこんでいます。</u>	5
				○ ひろしさんまたはあゆみさんを選び、その考えで求め、計算も正しく書いているが、答えはBを選んでいない。	3		
9 10点	(1)	⑲	考え	○ 1つのみ正しく書いているが、1つは間違っている。(例 イ, ウ)	1	○ ア, イ, オ (完答)	5
				○ 2つは正しく書いているが、2つは間違っている。(例 ア, イ, ウ, エ)			
				○ 1つのみ正しく書いている。(例 ア)	2		
	(2)	⑳	関心	○ 2つは正しく書いているが、1つは間違っている。(例 ア, エ, オ)	2	○ 平成15年度と平成25年度のグラフを比較して気付いたことを2つ書いている。 (例) ・ むし歯がない人の割合は、平成15年度より平成25年度の方が高くなっている。 ・ むし歯を治療した人の割合は、平成15年度も平成25年度も25%で等しい。 ・ むし歯を治療していない人の割合について平成25年度は、平成15年度の半分になっている。(平成15年度より低くなっている。)等 ※ 数値が書かれていなくても、気付いたことが正しければ可。 ※ 下の例のように、数値の変化から考察が書かれていても可。(下線部) ・ むし歯がない人の割合が、平成15年度より平成25年度が高くなっているのを、 <u>歯を大切に</u> する人が多くなっていると思う。等	5
				○ 2つのグラフを比較して気付いたことを1つ書いている。	3		